

第三者割当増資等に関する 補足説明資料

～資本業務提携、第三者割当による新株発行及び自己株式の消却
並びに主要株主である筆頭株主の異動及び主要株主の異動～

スター精密株式会社

<https://www.star-m.jp>

証券コード 7718

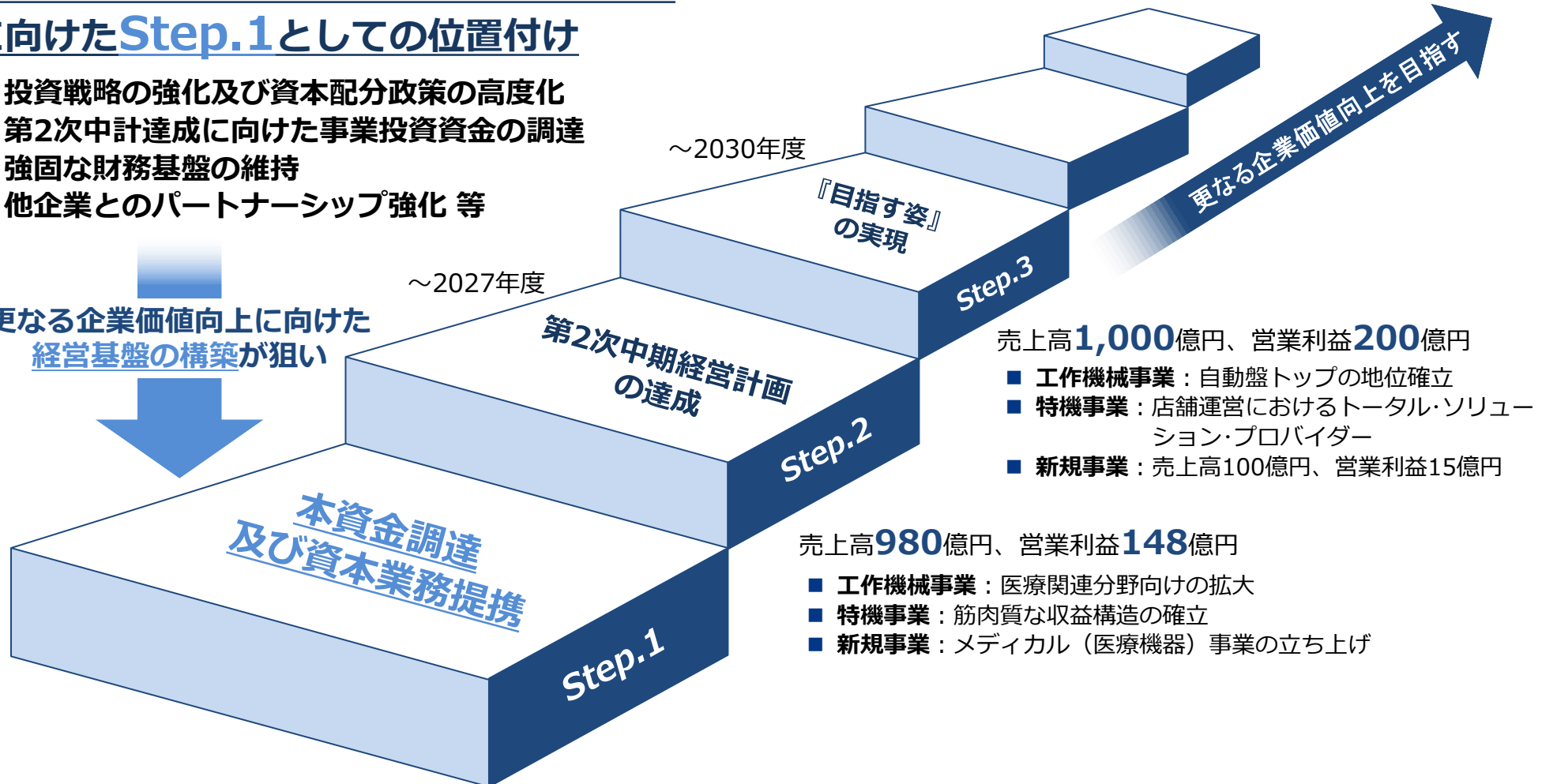
2025年4月7日

本件実施により、更なる成長のための強固な経営基盤確立を目指す

第2次中期経営計画・『目指す姿』の実現 に向けたStep.1としての位置付け

- 投資戦略の強化及び資本配分政策の高度化
- 第2次中計達成に向けた事業投資資金の調達
- 強固な財務基盤の維持
- 他企業とのパートナーシップ強化 等

更なる企業価値向上に向けた
経営基盤の構築が狙い



2025年4月7日開催の取締役会にて、Taiyo Pacific Partnersを割当先とする 第三者割当増資及び自己株式消却並びに資本業務提携契約の締結を決議

本件概要

- Taiyo Pacific Partners（割当先：Taiyo Unleash Acrux Holdings, LP）から資金調達
- 第三者割当増資により、約250億円を調達
 - 発行株式数：16,108,300株（希薄化率*：38.93%）
 - 発行価格：1,552円/株
 - 差引手取概算額：24,726百万円
 - 払込期日：2025年4月23日～2025年5月30日
- 同時に自己株式消却を実施
 - 消却株式数：9,000,000株（消却前の発行済株式の総数に対する割合:21.75%）
 - 消却予定日：2025年4月21日

主要株主の変動（株式所有割合）

■ 2024年12月末ベース
（2024年12月31日株主名簿）

1	日本マスタートラスト 信託銀行（18.54%）
2	日本カストディ 銀行（10.89%）
3	⋮
	Taiyo Unleash Acrux Holdings, LP（3.76%）

■ 第三者割当増資後
（2025年4月7日後）

Taiyo Unleash Acrux Holdings, LP(36.11%)
日本マスタートラスト 信託銀行（12.31%）
日本カストディ 銀行（7.23%）
⋮

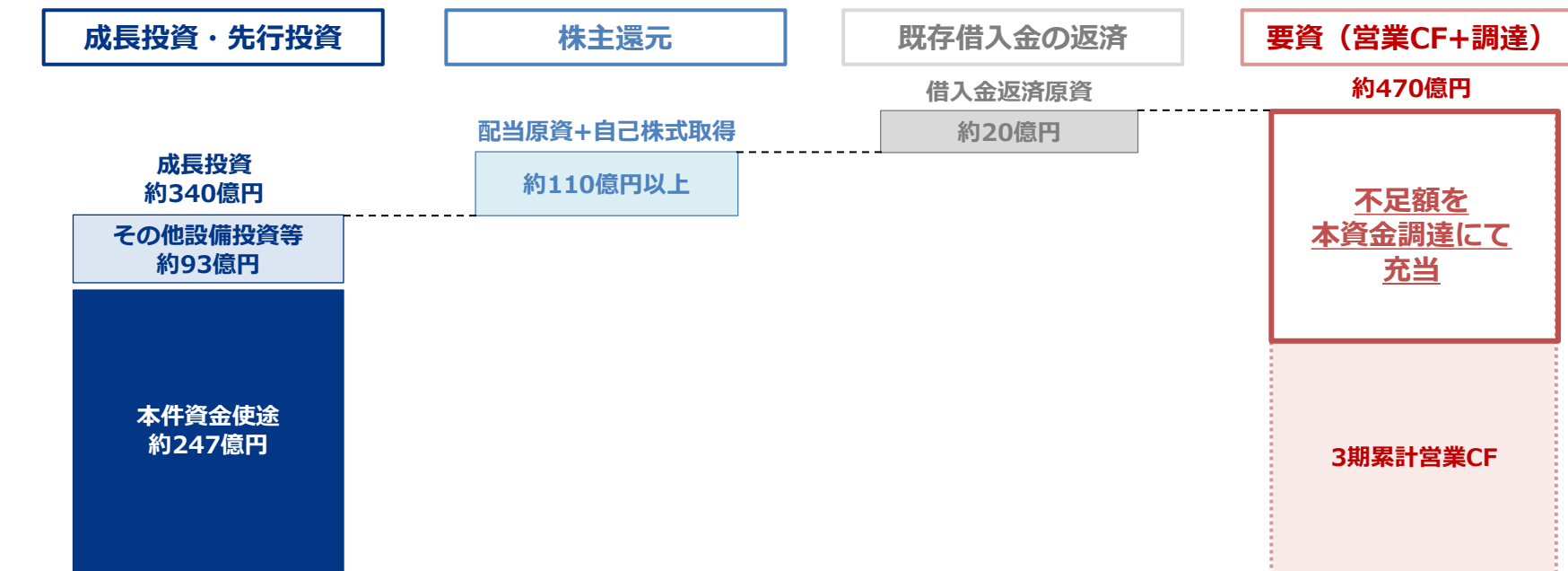
*：2024年12月31日時点の発行済株式総数41,373,034株に対する希薄化率

項目	内容
1. 契約当事者等	■ 契約締結日：2025年4月7日 ■ 契約当事者：①スター精密株式会社（「発行会社」）、②Taiyo Pacific Partners L.P.（「TPP」）、③Taiyo Unleash Acrux Holdings, LP（TPPが運営する割当先、TPPと割当先を総称して「割当先等」）
2. 条件	■ 募集株式の種類：発行会社普通株式 ■ 1株当たり払込金額：1,552円 ■ 払込金額の総額：約250億円 ■ 払込期日：2025年4月23日から2025年5月30日
3. 業務提携の内容	■ 目的： ①中長期の事業戦略オプションの客観的・実質的な検討 ②事業投資戦略の強化 ③資本配分政策の高度化 ■ 上記に加え、発行会社の更なる企業価値向上に資する施策の検討及び協議を推進
4. 取締役の派遣	■ 払込金額全額の払込みがなされることを条件として、割当先等に対し、発行会社の取締役候補者1名を指名する権利を付与

第2次中期経営計画の重点施策に向けた事業投資資金の調達

資金使途	金額	支出予定時期
①国内工場大規模リニューアル費用（第1期 菊川南工場）	90億円	2025年4月～2026年12月
②国内工場大規模リニューアル費用（第2期 牧之原工場）	53億円	2025年5月～2027年12月
③M&A等事業投資（医療機器メーカーM&A等）	88億円	2025年4月～2027年12月
④ソリューションセンター整備費用	17億円	2025年4月～2027年12月

キャッシュアロケーション（2025年12月期～2027年12月期）



豊富な経営支援実績と当社グループとの信頼関係

Why Taiyo?

- エンゲージメント投資家の先駆けとして、日本企業の企業価値向上へ向けた多数の支援実績
- 多様な企業とのパートナーシップ強化による継続的成長と事業拡大支援が可能
- 当社グループとこれまで100回を超える面談を実施し、対話を継続してきた20年超の信頼関係

▶ 両社の信頼関係をより強固なものとし、企業価値向上を円滑かつ確実に推進



重点施策への取り組み

- 工作機械事業：医療関連分野向けの拡大
- 特機事業：生産拠点集約・販売体制見直し
- 新規事業：メディカル（医療機器）事業の早期参入
- グループ全体：企業風土改革推進



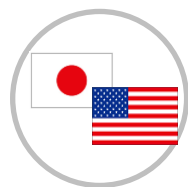
ハンズオン型支援

- 中長期事業オプションの客観的・実質的検討
- 事業投資戦略の強化
- 資本配分政策の高度化

目指すべき姿の実現、更なる企業価値向上へ



「長期・集中・ハンズオン」投資を戦略とする 日本企業向けエンゲージメント投資のパイオニア



米国ワシントン州拠点
日本企業向け投資に特化

20+
年

2001年創業
20年を超える投資実績

17
名

のプロフェッショナルが
投資・戦略立案・実行を全面支援

名称	Taiyo Pacific Partners L.P.		
所在地	米国ワシントン州カークランド		
設立年	2001年		
代表者	Brian K. Heywood、Michael King、村上皓亮		
投資戦略	- 長期投資 長期的な目線で、投資先企業の本源的な価値の実現を支援 - 集中投資 徹底的なボトムアップリサーチにより、確信を持った少数の投資先企業に集中投資 - ハンズオン投資 “答えは社内にある” をモットーに、企業・経営陣・社員の潜在力を解放		
特徴	- 資本市場と事業運営の観点を併せ持ち、より本源的な価値の実現を目指す投資ファンド 「レピュテーション（市場評価）」「ファイナンシャル（財務）」「ビジネス（事業）」の各領域で豊富な支援実績 - 経営陣と友好的な関係を構築しつつも、“厳しい友人”のような存在として、ハンズオン型の経営サポートを実施		
主な投資先	- アルバック株式会社 - ローランド株式会社 - ローランドディー・ジー・株式会社 - 株式会社ニフコ - 全国保証株式会社 - オムロン株式会社 - マクセル株式会社 等		